

# わたしたちの コンプライアンス

---



# ムサシフィロソフィー

## ■ 創業の精神

**Our Origin** 【創業の精神】

Shisei-Ikkan	Shitsujitsu-Goken
	
Consistent Sincerity	Simple and Sturdy

## ■ 使命

### Our Purpose 【使命】

We contribute to enriched **Harmony** between our lives and Earth, using our **Passion** for technology and **Wisdom** for innovation.

わたしたちは、テクノロジーへの“情熱”とイノベーションを生み出す“知恵”をあわせて、人と環境が“調和”した豊かな地球社会の実現に貢献します。

## ■ 行動指針

### Our Way 【行動指針】

- |                             |            |
|-----------------------------|------------|
| 1. Customer first           | お客様本位で     |
| 2. Integrity                | 誠実を尽くし     |
| 3. Be unique, be creative   | 工夫をこらして    |
| 4. Try first, learn fast    | 努力をおしまず    |
| 5. One Musashi              | みんなで力を合わせて |
| 6. Leadership and ownership | 権利義務を忘れずに  |
| 7. Smile and thanks         | 笑顔と感謝を届けよう |

## トップステートメント

現在、自動車産業が100年に1度の大変革期を迎えています。わたしたちムサシグループの歴史を振り返ると、今まで何度も大きな事業環境の変化に直面しました。しかし、その際には必ず「ピンチをチャンス」と捉えた新たな挑戦をし、その後の大きな成長につなげてきました。

わたしたちは、創業100周年となる2038年に向け、新しいムサシフィロソフィーと「ムサシ100年ビジョン Go Far Beyond!」をスタートしました。従来の自動車部品メーカーの枠を超えて、事業活動を通じて継続的に“地球社会の発展に貢献”し、社会からその存在を必要とされる「エッセンシャルカンパニー」を目指します。

そのためには、企業倫理やコンプライアンスといった企業としての社会的責任を果たし、社会からの期待と信頼に応えることが必要です。ムサシグループが社会から必要とされ、信頼される存在でありつづけるためには、経営トップである私が先頭に立ってコンプライアンスの意識の浸透に取り組むことはもちろん、ムサシグループで働く一人ひとりが、強い法令遵守の意識と高い倫理観をもって行動することが大切です。これは、ムサシグループの原点である「質実剛健・至誠一貫」の精神の具現化ともいえます。

「わたしたちのコンプライアンス」は、ムサシフィロソフィーに基づき、ムサシグループで働く一人ひとりが、お客様や社会とのかかわりの中で守るべき共通の行動規範です。みなさんが日々の業務のなかで、「これで大丈夫だろうか」と疑問に思い、「適法なのだろうか、企業倫理に反していないだろうか」と判断に迷うときには、「わたしたちのコンプライアンス」を読み返してください。

皆さんの誠実な判断と行動によって、ムサシグループの健全な企業風土が醸成され続けることを強く期待します。

2022年3月  
武蔵精密工業株式会社  
代表取締役社長・最高経営責任者  
大塚浩史

# 目 次

## 1 ムサシグループコンプライアンス基本方針と行動規範

## 2 わたしたちのコンプライアンスの趣旨

## 3 「わたしたちのコンプライアンス」による行動の基準

## 4 コンプライアンスチェックの方法

- (1) 行動確認の重要性
- (2) コンプライアンス相談窓口「オープンドア」の利用について
- (3) 自分で行うコンプライアンステスト

## 1 ムサシグループコンプライアンス基本方針

コンプライアンスとは、「法令や企業倫理を守って事業活動する」という社会の中での企業責任を意味する言葉です。

ムサシグループは、ムサシフィロソフィーを基軸にグローバルにビジネスを展開していく中で、こうした企業責任を果たすため、以下のとおり「わたしたちのコンプライアンス」を制定し、国内・国外を問わず、その遵守に努めています。

製品の安全性や品質に対するお客様の期待に応えるためには、現場の一人ひとりが意識を持って品質の向上に取り組むことが基本となります。

同じように、法令や企業倫理の遵守といった企業責任を果たすためには、現場の一人ひとりが日常業務の中で社会を意識し、自律的に行動することが基本となります。

ムサシグループは、さまざまな国や地域の文化や習慣を尊重しつつ、グローバルなビジネスをさらに発展させていくため、一人ひとりが「わたしたちのコンプライアンス」を共有し、実践することにより、お客様や社会からのより確かな信頼を得られる企業を創りあげることを目指します。

### わたしたちのコンプライアンス

1. わたしたちは、社会のルールと良識に従って行動します。
2. わたしたちは、社会との健全な関係を構築します。
3. わたしたちは、公正で健全な取引を実践します。
4. わたしたちは、すべての人の人権と多様性を尊重します。
5. わたしたちは、安全健康の確保と環境保全に努めます。
6. わたしたちは、会社が保有する情報を適切に取り扱います。

## 2 わたしたちのコンプライアンスの趣旨

「わたしたちのコンプライアンス」は、ムサシグループの役員および従業員はもちろんのこと、嘱託契約・派遣契約などの人も含めた、ムサシグループで働くすべての人（ムサシで働く一人ひとり）によって実践されるものです。

「わたしたちのコンプライアンス」の「行動規範」の6項目では、コンプライアンス、企業倫理に関するムサシグループの最も基本的な考え方が示してあります。

しかし、コンプライアンスに関する問題は難解であり、ムサシで働く一人ひとりが、「行動規範」に示された内容を、同じように理解し、日常の行動に移すことは必ずしも容易ではありません。

そこで、このマニュアルの「基本的な考え方」では、「行動規範」の各項目についてのムサシグループとしての考え方をより詳しく解説してあります。

また、「行動の指針」では、「行動規範」に示した原則に基づいて、各従業員が実施すべき具体的な行動の例が示してあります。これによって「わたしたちのコンプライアンス」を理解し、具体的に実践することができるようにしています。

皆さんが日常業務を進めていく中で、「こういう行動は社会的に問題なのでは・・・？」と疑問に思った場合や、「こういう場合にはどうすればいいんだろう・・・？」と判断に迷った場合まずはこのマニュアルを読んでください。

マニュアルを読んでも分からないこと、おかしいと感じること、疑問に思うことがあるときは、職制ラインを通じて上長に相談するなどして確認するようにしてください。各職場で判断できないような場合には、ムサシグループが用意しているコンプライアンス相談窓口ご連絡し、確認・解決するようにしてください。

### 3 「わたしたちのコンプライアンス」による行動の基準

#### 1 法令遵守

##### 行動規範 1

わたしたちは、社会のルールと良識に従って行動します。

#### (1) 法令・規則・規程の遵守

##### 基本的な考え方

△サングループは、法令や社内諸規程を遵守し、適切に事業活動を行います。

#### 行動の指針

- ・ 関係法令や社内諸規程（規則・規程・要領・その他マニュアルなど）の内容と精神を正しく理解し、遵守します。
- ・ 関係法令や社内諸規程については、改正により内容が変わることもあるので、改正の動向を把握し、常に最新のルールを理解するように心がけます。
- ・ 関係法令や社内諸規程で求められている、行政機関や上長に対する報告、記録の作成及び届出を適切に行います。
- ・ 関係法令や社内諸規程に違反する行為、または違反するおそれのある行為を発見した場合、上長、人事部門またはコンプライアンス相談窓口へ報告、相談します。
- ・ 会社財産の管理については、社内諸規程等、定められたルールにしたがい、責任をもって管理します。
- ・ 会社財産と個人の財産を厳密に区別して扱います。また、社内諸規程等に定められた手順を経ることなく、業務外の目的や私的な目的のために会社の財産を使用しません。

## (2) 商品の安全と品質の向上

### 基本的な考え方

ムサシグループは、商品の安全性や品質に対するお客様の期待に応えるため、品質の向上に努めます。

### 行動の指針

- お客様の期待に応える商品を提供するため、商品の安全性や品質を最優先し、定められた基準や手順を誠実に遵守します。
- 研究開発においては、客観的な基準に基づいて商品が安全に機能することを確認しつつ設計します。
- ムサシグループの商品の品質について、お客様の信頼に応えられるよう、クレームゼロを実現します。
- 品質トラブルが起きないように、常に情報収集します。品質不具合が発生した場合には、流出防止のため、速やかに社内報告を行うとともに、お客様に報告し、回収するなど適切に処理します。また、発生した不具合について原因調査を行い、再発防止策を講じます。
- ムサシグループの商品には、他人の生命、身体、財産を侵害しないよう重い製造物責任が課されていることを、ムサシで働く一人として自覚し、欠陥のある商品を市場に流出させることのないよう細心の注意を払います。



### (3) 輸出入の管理

#### 基本的な考え方

ムサシグループは、グローバルに活動する企業の責務として、グローバルビジネス、輸出入の関係法令や国際条約などを遵守し、適切に管理します。

#### 行動の指針

- 輸出入の申告にあたっては、関係法令にしたがって、必要な許可、承認、または届出を行い、必要な関税を納めます。
- ムサシグループにおける輸出入にあたっては、国際的な平和と安全維持を目的とする、日本及び外国の輸出管理法令にしたがいます。
- 関係法令などで禁止されている、貨物の輸出、技術の提供、仲介貿易取引などをしません。

#### (4) 良識ある社会の一員としての行動

##### 基本的な考え方

ムサシグループは、ムサシで働く一人ひとりに対し、日常業務の中で社会を意識し、自律的に行動することを求めます。

##### 行動の指針

- ムサシで働く一人ひとりが、ムサシグループに対するお客様や社会からの信頼を創りあげていることを自覚し、常識ある倫理的な行動をとるよう努めます。
- 私生活においても品位を守って行動し、ムサシグループの名誉・信用を傷つける行為や、ムサシグループと利害の相反する行為を行いません。
- 私的な個人活動を会社に持ち込みません。職場において会社の許可なく、政治活動、宗教活動、サークル活動、またはボランティア活動など、業務と無関係な個人活動を行いません。

## 2 社会との健全な対話

### 行動規範2

わたしたちは、社会との健全な関係を構築します。

#### (1) 社会貢献活動

##### 基本的な考え方

ムサシグループは、社会の一員として、社会・文化の健全な発展に貢献していきます。

ムサシグループは、ムサシで働く一人ひとりが、自らも社会の一員であることを自覚し、積極的に社会貢献活動を行うことを望みます。

##### 地域の自然環境保護活動

ムサシグループは自然の多面的な価値を理解し、自然環境の保護活動に積極的に取り組みます。

##### 地域の次世代育成・教育の支援

ムサシグループの事業はステークホルダーの人々の理解の下に成り立っていることを認識し、次世代育成・教育支援に積極的に取り組みます。

##### 交通安全の普及啓発

ムサシグループは輸送用機器の製造に携わる企業として、交通安全の啓発活動に積極的に取り組みます。

##### その他、地域社会の持続的な発展や地域文化への支援

ムサシグループは地域社会に支えられ発展してきたことを認識し、地域文化や地域社会の持続的な発展への支援に取り組みます。

#### 行動の指針

- ・ムサシグループの社会貢献に対する考え方を理解するとともに、社会の中で期待される役割を果たすように努めます。
- ・ムサシグループが、創業以来、グローバルにビジネスを展開するようになった今日に至るまで、地域社会に支えられて発展してきたことを理解します。だからこそ、地域の発展や地域の信頼なくしてムサシの存続はないことを理解し、地域社会に対して常に感謝の気持ちをもって行動します。
- ・地域社会との交流を深め、信頼を得るためには、会社だけでなく、ムサシで働く一人ひとりの力が重要だと考えます。そこで、地域イベントやボランティア活動に積極的に参加し、活力ある地域社会作りに貢献します。

## (2) 交通ルールとマナー

### 基本的な考え方

ムサシグループは、輸送機器部品の製造・販売に携わる企業として、社会の模範となるよう、交通ルールとマナーを守り、安全運転の啓発とよりよい交通環境づくりに努めます。

### 行動の指針

- 私たちは、輸送機器関連産業に働く者として、交通ルールを守り、違反に対しては、より厳しい姿勢で臨みます。
- 私たちは、飲酒後や、薬などの影響で心身が正常ではない状態で運転をしません。また、そのような状態の人には、車の運転をさせません。
- 自ら交通ルールを守るだけでなく、他の車や歩行者の不注意、交通ルール違反についても「かもしれない運転」を心がけ、十分注意します。  
(「かもしれない運転」：「前方の車は急ブレーキをかけるかもしれない」「歩行者が飛び出してくるかもしれない」など、不測の事態に対処できるように準備し、余裕を持って運転することをいいます。)
- 注意力を散漫にする「ながら運転」をしません。  
(「ながら運転」：スマートフォン・携帯電話での通話、メール、インターネットの視聴、スマートフォンアプリの使用、およびカーナビの操作など、運転以外の行動をしながら、自動車を運転することをいいます。)

### (3) 反社会的勢力\*との関わり方

#### 基本的な考え方

ムサシグループの事業活動が、反社会的勢力の資金源や資金洗浄などに繋がることを防止するため、暴力団をはじめとする反社会的勢力に毅然として対応し、取引・利用・屈服・癒着など、一切の関係をもちません。

#### 行動の指針

- 暴力団をはじめとする反社会的勢力や、反社会的勢力と関係のあると認識する取引先とは、いかなる取引も行いません。日常業務では、取引先が反社会的勢力と関係のある会社かどうか十分に注意します。
- 会社や自らの利益（私生活における利益を含みます。）を得るために、暴力団などの反社会的勢力を利用しません。
- 反社会的勢力から不当な要求を受けた場合は、屈することなく、直ちに会社の担当窓口や警察その他適切な窓口にご相談し、連携して解決を図ります。
- 私生活においても、交際相手が暴力団の構成員などの反社会的勢力の関係者かどうか十分に注意します。

※反社会的勢力：犯罪組織や暴力団、およびそうした組織に所属する、あるいは綿密な関係を持つ企業・個人も含まれます。

#### (4) 適切な開示

##### 基本的な考え方

ムサシグループは、透明性の高い企業であり続けるために、お客様、お取引先、株主・投資家、地域社会などのステークホルダーとの適切なコミュニケーションを図ります。特に投資家の投資判断に必要とされる情報は、上場企業として法令や証券市場の規則に従い、迅速、正確かつ公平な開示を行います。

##### 行動の指針

- 外部への情報開示に携わる場合には法令・社内規則に従い、適切な開示を行うとともに、様々なステークホルダーに対して誠実な対応を行います。
- 社外からの要望や意見を真摯に受け止め、企業活動に反映させるよう努めます。
- 社会的に有用性、緊急性などが認められる情報については、自主的な情報開示に努めます。

### 3 公正・健全な取引

#### 行動規範3

わたしたちは、公正で健全な取引を実践します。

#### (1) 競争法、腐敗防止法の遵守

##### 基本的な考え方

ムサシグループは、お客様に誤解を与えることのないよう、商品などの正しい情報の提供と、それに基づいた誠実な営業活動を実施します。

また、お客様、お取引先様との取引に当たっては、各国・地域の関係法令（競争法、腐敗行為防止に関する法令など）、および社内諸規定等を遵守し、公正で健全な取引を行います。

##### 行動の指針

- お客様に誤解を与えることのないよう、商品の情報をよく理解し、商品などの正しい情報・データを提供し、それに基づいた誠実な営業活動を行います。
- 商品などの情報・データは、社内諸規程等に基づき適正に管理し、お客様が必要とする情報・データの提供に努めます。
- お客様、お取引先様との取引に当たっては、各国・地域の競争法、および社内諸規程等を遵守し、私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合など）、不公正な取引方法（優越的な地位の濫用など）など、公正な競争を阻害する行為を行いません。
- 各国・地域の腐敗行為防止法、および社内諸規定等を遵守し、お客様やお取引先様などの利害関係者との間で、常識的な限度を超える贈与、節度を越えた接待、不当な便宜を受けたり、与えたりしません。
- サービスや商品の取引先の決定にあたっては、複数のお取引先様の中から諸条件を公平に比較評価し、最適な取引先を決定します。

※お客様：当社が直接商品を販売するお客様だけでなく、当社商品を利用した完成品を使用する最終消費者も含まれます。

## (2) インサイダー取引の防止

### 基本的な考え方

ムサシグループは、インサイダー取引規制に違反する行為やその疑いを招くような行為は行いません。

### 行動の指針

- 法令・社内規則に従い、ムサシグループに関する未公表の重要事実や、ムサシグループ以外の上場企業等に関する未公表の重要事実を業務上知ったときは、その情報が正式に公表されるまで、私生活においても秘密として取り扱い、社内・社外を問わず業務上知る必要のないの人に関示しません。また、当該会社の株式、社債などを売買（インサイダー取引）しません。
- 自らがインサイダー取引を行わないだけでなく、家族、知人など周囲の人や取引先など仕事で関わった人に会社の未公開の重要情報を話すことでインサイダー取引のきっかけを与えないようにします。



### (3) 利益相反取引

#### 基本的な考え方

ムサシグループは、適正な事業運営のために、ムサシの利益に反するいかなる行為も認めません。

#### 行動の指針

- ムサシで働く一員として、ムサシの利益に反して、自己、お取引先または第三者の利益を図る行為(利益相反行為)を行いません。
- 職務上知りえた情報を、自己または第三者のために利用しません。
- 自らまたは利害関係者（親族や自らまたは親族が経営する企業・団体等）が会社と取引する場合、自らまたは利害関係者が利益を得るために会社での立場を利用し、会社の利益を不当に損なうようなことは行いません。

## 4 人権と多様性の尊重

### 行動規範4

わたしたちは、すべての人の人権と多様性を尊重します。

#### (1) 人権尊重、強制労働・児童労働の禁止

##### 基本的な考え方

ムサシグループは、グローバルに活動する企業の責務として、すべての人々の人権を尊重し、強制労働や児童労働、あらゆる差別を許しません。さらに、人権侵害への加担の回避に努めます。

##### 行動の指針

- 全ての労働は自発的であること、また自由に離職できることを保証します。政府支給の身分証明書（パスポート、労働許可証など）を会社で預かるといった、自由な行動・離職を制限するような行為を行いません。
- 各国・地域の法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は受け入れません。
- 人権侵害を許容する会社とは取引を行いません。
- ムサシグループは紛争鉱物の使用回避など、事業活動による人権への悪影響の防止・緩和に努めます。

## (2) 多様性の尊重

### 基本的な考え方

ムサシグループは、ムサシで働く一人ひとりが個性や能力を発揮し、安心して働くことができるよう、多様性を積極的に認め合います。

### 行動の指針

- お客様、お取引先様、ムサシで働く人を問わず、他者について、出生・国籍・人種・民族・信条・宗教・性別・年齢・知的身体的障害・病歴・学歴・社会的地位などを理由とした、いかなる差別も行いません。
- 差別と誤解されたり、個人の尊厳を傷つけるような表現あるいは用語を使用しません。
- 一人ひとりの能力と実績に応じた評価と配置を行い、仕事を通じて成長できる環境づくりに努めます。

### (3) ハラスメントの防止

#### 基本的な考え方

ムサシグループは、職場におけるあらゆる種類のハラスメントを許さず、共に働く仲間には敬意を持って接します。

#### 行動の指針

- 人格や尊厳を傷つけたり、不利益や脅威、不快感を与えるような、あらゆる種類のハラスメント（いじめ、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなど）を行いません。
- 職場や、外出先・宴席などの職場の延長上にある場では、他者への尊敬を欠く行為を行いません。

## 5 安全健康確保、環境保全

### 行動規範5

わたしたちは、安全健康の確保と環境保全に努めます。

#### (1) 安全衛生

##### 基本的な考え方

ムサシグループは「安全なくして生産なし」を基本思想に、従業員一人ひとりが心身ともに健康で安全に働くことが出来るよう、職場の整理・整頓・清潔を徹底し、快適で安全な職場環境づくりを行います。

##### 行動の指針

- 心身の健康を維持・向上するよう努めます。
- 職場において常に5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）を徹底します。
- 危険作業や危険設備を適切に管理して、事故や災害の防止に努めます。
- 事故や災害の発生時には、人命の安全を最優先し、被害の拡大防止に努めます。
- 調和のとれた働きができるよう、職場での円滑なコミュニケーションに努めます。

## (2) 環境保全

### 基本的な考え方

ムサシグループは、地球社会の一員として、地球環境の保全を重要課題とするとともに、環境保全・向上のため、資源の効率的利用と再資源化、汚染の予防に積極的に取り組みます。

### 行動の指針

- 環境に関する社会活動に積極的に参画し、地域社会との共生に努めます。
- 事業活動に関係する環境法令・基準を遵守し、環境保全と汚染予防に関する法令に定められた測定、記録、および報告は適切に行います。また、化学物質の管理に努めます。
- 地球上の資源は有限であることを認識し、環境への負荷を軽減するよう、省エネルギー、省資源、またはリサイクルなどに配慮して、日常業務を遂行します。
- 商品の開発、加工の管理・運用手順、商品の輸送など、事業のあらゆる側面で、環境の持続性に配慮した事業活動に努めます。

## 6 情報管理

### 行動規範6

わたしたちは、会社が保有する情報を適切に取り扱います。

#### (1) 文書の作成、取り扱い、保存および廃棄

##### 基本的な考え方

ムサシグループは、社内諸規程等に従い、文書及び記録（電子媒体に保存されるものを含む）を適切に作成し、管理します。

##### 行動の指針

- 社内諸規程等に従って必要な文書・記録を適切に作成します。
- 作成した文書・記録は社内諸規程等に従って適切に管理します。
- すべての文書・記録は業務上の機密事項に該当する可能性があることを認識し、その取扱いに細心の注意を払います。
- 締結する契約書について、社内の適切な手続きに基づいて内容を確認し、当社の適正に権限を付与された者により署名または記名・押印します。
- 契約書の記載事項は、会社が他社との取り引きにおいて約束した、取り決め、実施事項であることを認識し、適正に履行します。
- 契約書を機密情報と認識し、社内諸規程にしたがって適切に保管、廃棄します。

## (2) 機密情報の管理

### 基本的な考え方

ムサシグループは、お客様、お取引先様や、ムサシグループの機密情報の取扱いについて、細心の注意を払います。

### 行動の指針

- お客様、お取引先様や、ムサシグループの営業上・技術上の情報などの機密情報を社外に開示しません。また、社内においても、当該情報の入手が業務上必要と認められる人以外に開示しません。
- 機密情報が記載・保存された機密文書および電子媒体は、社内諸規程にしたがって適切に取り扱います。社外に開示する目的がなくても、私的に機密情報をコピーすることは絶対にしません。
- 社外で不用意に業務に関する話をする、資料を人目につくところに置いたままにする、あるいは不要になった資料をそのまま捨てるなど、機密情報の漏洩につながる行為はしません。
- 情報やデータの漏えいを防止するため、社内諸規程に従って許可を得ない限り、会社で使用を許可されていないサービスやデバイスを使用しません。
- 日常業務を通じて知った個人情報も、その一人ひとりにとっては極めて重大な秘密であることを理解します。
- 個人のプライバシーを保護する法令を遵守し、その精神を尊重して、個人情報は厳重に取り扱い、その秘密を守るとともに、その利用目的の達成に必要な範囲を超えて利用しません。
- 個人情報が記載された資料が不要になった場合には、裁断するなど、社内諸規程に従って適切に廃棄します。



### (3) 知的財産の認識

#### 基本的な考え方

ムサシグループは、研究・開発その他の業務によって生じる発明、考案、デザイン、ノウハウなどの成果や、商標や著作権などが、それ自体重要な知的財産であることを認識し、知的財産を尊重して事業活動を行います。

#### 行動の指針

- 他者の発明、考案、デザイン、ノウハウ、商標、著作権などの知的財産について、権利者の承諾を得ないまま、不正に利用しません。
- 研究・開発その他の業務によって生じた成果は適切に記録・管理し、何人に対しても、所定の手続きを取らずに不正に開示・漏洩しません。
- ムサシグループの業務範囲に属する成果を得た場合には、遅滞なく届出を行い、ムサシグループの出願・登録などの権利化に協力します。
- 在職中および退職後を問わず、ムサシグループの成果を自己または第三者のために使用しません。
- ムサシグループの知的財産権が侵害されていることを知った場合には、直ちに関係部門に連絡します。

## 4 コンプライアンスチェックの方法

### (1) 行動確認の重要性

#### ①コンプライアンスチェックの基本的取組

職場の中で、これまで述べてきた遵守事項を守り、ムサシグループのコンプライアンスを実践するのは、ムサシで働く一人ひとりです。

しかし、コンプライアンスの実践は一朝一夕に根付くものではなく、繰り返し自己の行動確認を行うことが何より重要です。

日常業務の中で、判断に迷ったときは、このマニュアルに立ち返ってみてください。

このマニュアルを読んでも疑問に思うこと、判断に迷うときは、職制ラインを通じて上長に相談したり、次頁の利用方法を参考にして、ムサシグループが用意しているコンプライアンス相談窓口を活用してください。

#### ②無意識の行動に対するコンプライアンスチェック

コンプライアンスチェックは、明らかにおかしいと思った場合、疑問に思った場合、判断に迷った場合など、意識的な行動に対して行うだけでは十分ではありません。無意識の行動に対してコンプライアンスチェックできる必要があります。

ムサシで働く一人ひとりが互いに行動を確認し、助言できる企業風土を作るとともに、日常的に自己の行動を確認する癖をつけるようにしてください。そのために、このマニュアルを参考にしてください。









## (2) コンプライアンス相談窓口「オープンドア」の利用について

### ①コンプライアンス相談窓口の基本ルール

- ・ムサシグループの社員、期間社員、臨時社員、派遣社員またはお客様、お取引先様の社員であればどなたでも相談、提案ができます。
- ・事実をできるかぎり確認するため、実名での利用を推奨しますが、匿名での利用も受け付けます。
- ・郵便、電話、Eメールといった方法によって利用できます。
- ・「オープンドア」の利用により、会社や上司から不利益処分を受けることはありません。
- ・「オープンドア」を悪用し、特定人物の誹謗・中傷を目的とした相談や提案を行うことは謹んでください。

### ②「オープンドア」の窓口

「オープンドア」は3つの受付窓口を選ぶことができます。

△ サシ 提案 窓口	 郵便窓口：〒441-8560 豊橋市植田町字大膳39-5 武蔵精密工業株式会社 オープンドア窓口宛  専用Eメールアドレス：MSI_PROPOSAL@musashi.co.jp (Outlook アドレス帳に「△サシ提案窓口」設定)  専用電話窓口：080-9642-1731
△ サシ 提案 窓口 (監査)	 郵便窓口：〒441-8560 豊橋市植田町字大膳39-5 武蔵精密工業株式会社 オープンドア監査等委員窓口宛  専用Eメールアドレス：msi_audit@musashi.co.jp (Outlook アドレス帳に「△サシ提案窓口 (監査)」設定)  専用電話窓口：080-4611-0384
社 外 弁 護 士 窓 口	 Eメールアドレス： 上田 栄治 弁護士 ueda@ginza-nire-law.jp 増澤 雄太 弁護士 masuzawa@ginza-nire-law.jp 小町谷 綾 弁護士 komachiya@ginza-nire-law.jp  専用電話窓口：080-9665-0896 (※電話受付時間は平日の10:00~19:00です)

### (3) 自分で行うコンプライアンステスト

あなたは自分が行おうとすること、行っていることについて・・・

1. 「些細な事であればルール違反をしても許される」という考えを持っていませんか。  
⇒些細なことでも、ルール違反をするということは、その場では問題にならなくても、後から大きな問題につながる可能性を含んでいます。こうした態度はコンプライアンスの観点からは問題があると考えて下さい。
2. 自分の家族や友人に対しても同じ行動をとることができますか。  
⇒家族や友人に対してとることができない行動は、取引先、同僚に対する関係でも問題行動である可能性が高いです。
3. 自分の子供にも自信をもって話すことができますか。  
⇒大切な人に自信を持って話すことができない行動は、あなたの信用や生活を壊してしまうおそれが高いです。
4. ニュースや社内報、社内ホームページで周知されるとしても、自分の行動について堂々と説明できますか。  
⇒他人に堂々と説明できない行動は、絶対に控えるようにしてください。
5. 自信をもって自分の良心に反しなとは言えますか。  
⇒誰も見ていなくてもあなただけは自分の行動を見ています。本当は良くないことだと気付いていませんか。良心にしたがって行動することは何より重要な行動基準です。

わたしは、”わたしたちのコンプライアンス”の内容を理解し、行動規範に基づいた行動を実践します。

社員番号

名前





**GO  
FAR  
BEYOND**